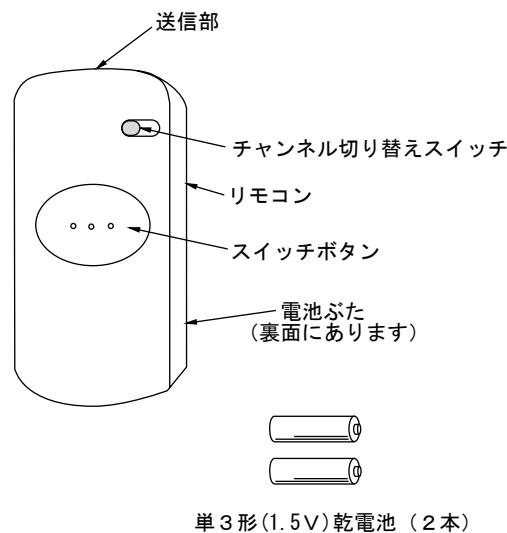


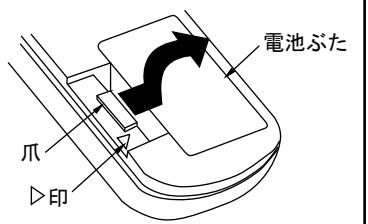
リモコンによる操作方法

各部の名称



乾電池の入れかた交換のしかた

①リモコン裏側の△印部の爪を横に押しながら電池ぶたをはずしてください。



②単3形乾電池を+、-の表示どおりに入れてください。

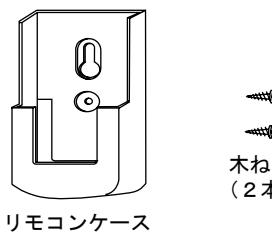
③電池ぶたを差し込み、「パチン」と音がするまでしっかりと押してください。

* リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。

必ず守る

長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
* 液漏れによるリモコンの故障の原因となります。

リモコン付属品

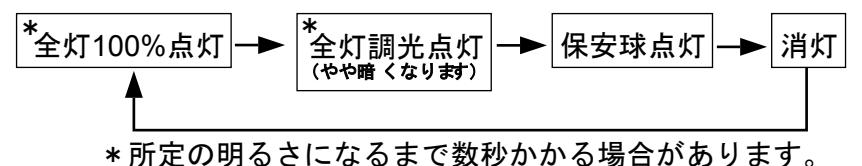
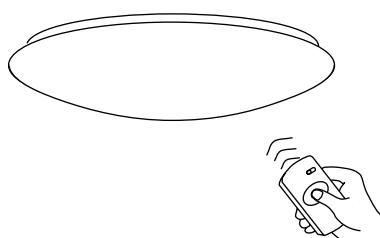


注意

- 種類の異なる乾電池(例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池)また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
- 充電式電池は使用しない。
- 使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
- *乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

点灯順序確認

●スイッチボタンを押して点灯順序を確認してください。(スイッチボタンを押すたびに下記のように切り替わります。)



* 所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。

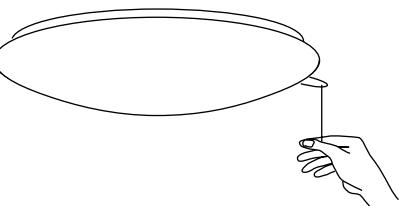
このようなことにもご注意を

- この器具は、天井や壁等の反射を利用してリモコンから出た信号を受信しております。天井や壁等が暗い色の場合は、受信感度が低くなり、動作しない場合がありますのでご注意ください。
- リモコンと器具の間にしゃへい物がありますと、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。
- リモコンを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなるところに置いたりしないでください。操作不良の原因となります。

補助スイッチによる操作方法

リモコンスイッチや壁スイッチで操作できない場合にお使いください。

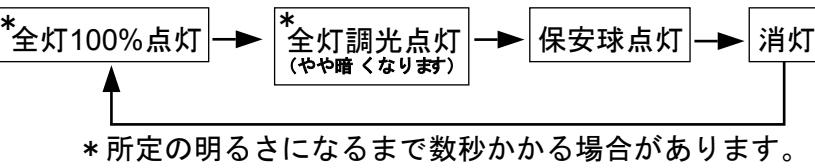
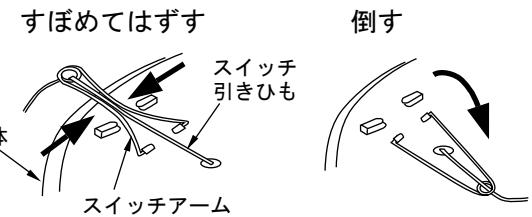
●補助スイッチを引くたびに下記のように切り替わります。



必ず守る
補助スイッチはゆっくり下にまっすぐ引く。
* 強く引いたり、衝撃を与えると故障および、器具の落下によるけがの原因となります。

補助スイッチを使用しない場合

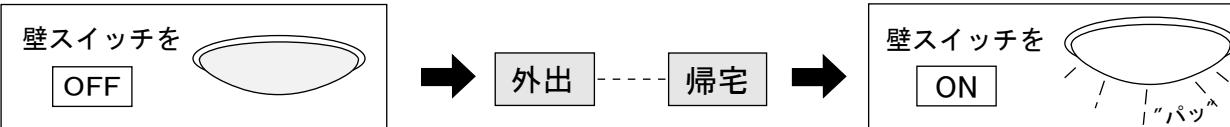
●スイッチアームを本体裏側に倒し、スイッチ引きひもを本体裏側におさめてください。



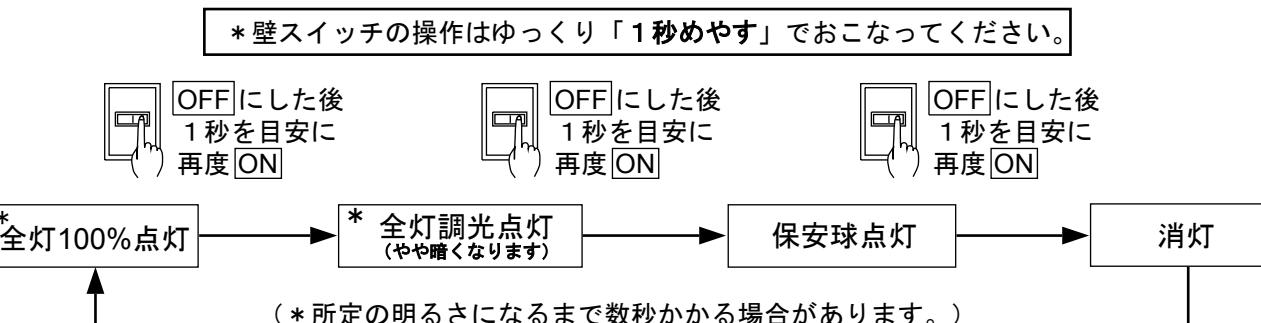
壁スイッチによる操作方法

壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

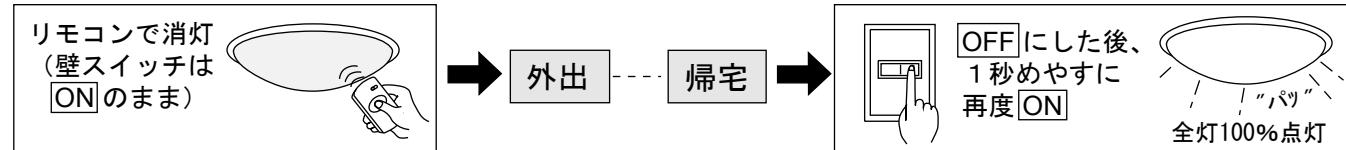
●壁スイッチをOFFにした後、再度壁スイッチをONにしますと、消灯前の点灯モード(消灯も含む)になります。



●壁スイッチを操作することで次の点灯モード(消灯も含む)に切り替えることができます。



このような使いかたが便利です



ご注意

- 壁スイッチのOFF-ONの切り替え時間を検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、壁スイッチ操作の際は約1秒をめやすとして操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔でOFF → ON操作をもう一度おこなってください。